



No.145 2019. 3

発行 真言宗豊山派
北田山寶泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

タイに行きタイ!!①

「高橋さんに会いにタイに行きませんか！」一人の友人僧侶の呼びかけにより、私含め坊さん仲間6名によるタイ王国への旅が実現しました。

「高橋さん」とは昨年9月発行の『るり光』143号の一面「これからの寺院、これからの僧侶」で紹介した高橋卓志師のこと。師は昨年夏から、70才にして単身タイに留学をされており、その高橋師を訪ねようというのが今回の研修旅行の主旨でした。

高橋師は数十年前から、形式的な葬儀の改革、福祉施設の設定、永六輔氏らとの100回におよぶ勉強会の実施などを行ってきた寺院改革の第一人者です。その活動の一つとして「アクセス21」というNPO法人を立ち上げ、鎌田実医師らとチェルノブイリ原発事故被害者支援を行ってこられました。チェルノブイリが一段落した1990年頃、タイに渡った師は当時国中に蔓延していたHIVと、その脅威にさらされ、なす術もなくなたらずむ人々を目の当たりにし、地元の僧侶と共にHIV感染者の支援に乗り出します。ちなみにその頃、タイ国内のHIV患者は120万人。なんと

と全国民の50人に1人がHIVウィルスに感染していたそうです。

支援の拠点となったのはバンコクから北に約700km、タイ北部最大の都市チェンマイ郊外に位置する小村、ホーリン村。すでに設立されていた「プラサンジャイ」という自助グループ



高橋師、プラサンジャイの皆さんと

と出会った高橋師は、グループのメンバーとリーダーであるホーリン寺住職ロンピーデン師らと相談を重ね、HIV キャリアである女性たちに縫製技術と業務用ミシン、そして資金を提供し作務衣の縫製作業所を立ち上げることにしました。紆余曲折ありながらも現在プラサンジャイは、スタッフ一人一人が自立できているだけでなく、病状の重いHIV患者への資金援助などを行うまでに成長しています。



今回の研修の目玉は、プラサンジャイの作業所と、その近くに建つかつてHIV治療の最前線であった大病院を訪れ、スタッフの女性たち、そしてリーダーであるロンピーデン師らと交流し、また活動を共にすることでした。

プラサンジャイでは、手作りの昼食（黒砂糖を練りこんだうどんとサラダ）をいただきつつ、スタッフの代表であるソミヤさんから、仲間がHIVでバタバタと亡くなっていくなか、皆で励まし合い活動を続けてきたこと、そして、そこに携わるロンピーデン住職や高橋師という仏教の力がいかに大きかったかを熱心に語っていただきました。

プラサンジャイの工場をあとにロンピーデン師と共に向かった病院では、日本では考えられない光景を目にすることとなります。病院につくとすぐにロンピーデン師は病院の放送室に入り、全館に向けた「説法」を行ったのです。説法を終えたあとは仲間の僧侶と共に患者さん一人一人に声をかけて回ります。そして、患者の皆さんは心からありがたいという表情で手を合わせます。

日本でも最近は終末医療に僧侶が関わる事例が少しずつ増えてはき



患者に祈りを捧げるロン師

ましたが、僧衣をまとい病院に入ることはまだまだ難しいのが現状です。ですので、ロンピーデン師の活動というのは私たちにとって、非常に驚くべきものだったのです。

まだまだ書きたいことがたくさんあります。続きは次号にて！（真了）

お知らせ①

護摩法要

日時：3月21日（木・春分の日）午後2時開始

会場：寶泉寺大師堂（境内一番奥のお堂）

※皆様の願文が書かれた護摩木をお焚き上げします（1本300円）。

護摩木は法要の開始直前まで受けつけますので、大師堂にてご記入ください。

お知らせ②

★花まつい★



恒例のお釈迦さまのお誕生日会である「花まつり」を行います。

期間は**4月6日、7日の2日間（10時～15時30分）**です。期間中は本堂を開放し、甘茶やお菓子でお接待いたします。また、本堂内では期間中いつでも腕輪念珠が作れます（無料）。ぜひ遊びにきてください。

お知らせ③

声明コンサート開催♪

好評の声明コンサート（歌うお経）を本年も開催いたします。

日時：6月22日（土）さいたま市プラザイースト

※詳細は寶泉寺までお問い合わせください。

【ご報告】

3月13日、熊谷市民文化センターにおいてご詠歌の大会に出仕して参りました。登壇者は寶泉寺ご詠歌の集いのメンバー7名と住職の計8名。250人の聴衆の前で、かつ舞台上でのお唱えは緊張しましたが、終了後の晴れ晴れとした皆の表情が印象的でした。ご詠歌の集いではいつでもメンバー募集中です。お気軽にどうぞ。



あしなが育英会

寶泉寺の社会貢献の一つとして寄付を続けています。いろいろな援助は多くの地域や各層、多方面に必要とするところですが、あしなが育英会は青少年の学業の援助を目的とされる団体であるところから選んだものです。制度や手当は進んでも全部が保障されるものではなく、まだまだ民間団体の活動が担う部分も大きなものがあります。今年度は皆様からお預かりしたお布施から **210,300円** を送金しましたのでご報告致します。

歩道ができます

寶泉寺が面する市道に歩道が出来ることになりました。所沢市道路課によって「北岩岡」交叉点から徐々に進められていて、寶泉寺でも土地提供の要請を受け入れることとし、いよいよ具体化されてきました。さて広くもない道路に大型車を含む大きな交通量、自転車や歩行者、特に学童の通学には大きな危険がはらんでいました。一刻も早い事業完了を望むところです。

さて土地提供によって駐車場には大きな変更を余儀なくされることになり、それに伴って塀や参道の入り口付近にも手を加えなければならぬ状況です。これからも慎重に検討し進捗状況をお知らせすることに致します。

編集後記

- ・子ども虐待の事件がおきている。「信じられない」「どうしてだろう」「昔はこんなことは無かった」思いはそれぞれ、人には表面からはうかがい知ることが出来ない部分があるようだ。最近雑誌で読んだ子供という字の話。■から生まれて子供時代を終了するまで人と共にあるという意味だそうで、必要なのは人のぬくもりだ。
- ・東日本大震災、8年になる。揺れに怖くなり外に飛び出したあの時のことを思い出している。先日のNHKスペシャル、制度の狭間で苦しんでいる様子が描かれていた。傷跡は深くまだまだ復興は途上だ。
- ・去年秋から肩の痛みで何かと事がうまく進まない。肩の一部に貯まったカルシウムが原因だという。初めての痛みは42才の厄年の時なので40年近くにもなり以来何度も繰り返した。冬の仕事が滞って気になっているがこのところ暖かくなかったし少しずつ外に出ている。ナラやクヌギが育っているのでマキが欲しい人はいないだろうか、もしもおられるなら是非教えていただきたい。
- ・平成もあとわずか、間もなく元号の発表も控えている。平成は陛下のご活動が非常に印象深い時代だったと思う。

Mar. 14. 2019(真琴)